

子どもや若者に居心地の良い立川を目指して…

ありのままでいられる居場所を NPO法人ゆとりある

立川と国立で不登校当事者の居場所を提供する活動をしています。
スタッフも不登校経験者。
当事者の思いや居場所の必要性について議論しました。



子どもに寄り添うまち 町田市視察

同会派の原ゆき議員と町田市役所に行きました。町田市は昨年12月に「子どもにやさしいまち条例」が制定。
子育て専用ホームページや、子育て相談窓口、未就園でも保育園に連れていけるマイ保育園制度など、様々な先進的な政策があり、子どもに寄り添う姿勢が伝わりました。



町田ゼミルビエが「お母さん」！

若者の「働く」と「働き続ける」を応援 認定NPO法人 育て上げネット

立川中心に若者を支援しています。
会派では、若者議会の実現に向けて、若者の意見を政治が取り上げていく意義についてレクチャーを受けました。



立川子ども日本語教室 つばさ視察

市内で外国ルーツの子どもたちに日本語を教えており、会派で見学しました。立川の外国人人口は5千人ほどで増加傾向にあります。市として活動を支えていく必要性を実感しました。



議会で取り上げました 若者会議の実現を！

若者会議の実現に向けて、12月議会で中野区の取り組みを紹介しました。中野区では、若者会議を通じて若者会議の在り方自体を議論する、という興味深い方法を採用しており、立川で実現させる上でも大いに参考になります。



立川市議会議員

山本ようすけ

緑たちかわニュースNo.14

【山本ようすけプロフィール】



- 1990年、武蔵村山市生まれ、稲城市育ちの33歳●立川高校卒業
- 一橋大学 社会学部 卒業●外資系コンサルティング会社に就職
- 2022年、立川市議員選、二期目の当選 (2,082票)●高松町在住



厳しい年明け、防災の在り方を考える

能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々お見舞い申し上げます。一日も早く、皆様の生活が元に戻ることを願っております。

震災の危険性はこの立川も決して他人事ではありません。日頃の備えの大切さや平時における自治会の活動がいかに大切です。年明けは出初式や地域行事などが多く開催されました。日頃の防災の取り組みやご近所と顔の見える関係を作っていくことが、いかに大切であるか痛感しました。



元旦、NPO法人さんきゅうハウスのお雑煮会



立川の消防に関わる人たちの出初式



町内会の餅つき大会

市政報告会を開催します！

年度末に市政報告会を実施します。新市長就任後の議会の様子や山本提案の政策等、皆様とおしゃべりできたらと思います。お気軽にお越しください！

- 日時：3月30日(土) 14時～16時頃 (途中参加、途中退席OK)
- 場所：山本ようすけ事務所 (高松町2-19-1)
- 申し込み：下記メールかお電話よりご連絡ください！

【発行日】2月15日 【発行】立川市議員山本ようすけ

【連絡先】〒190-0011 立川市高松町2-19-1 ☎080-5650-7833 ✉ t.yamayou@gmail.com

採択されました

ガザ地区の人道危機に対し、即時停戦を求める決議

私には、エルサレムに駐在しながら、ガザ地区の人道支援に携わっている学生時代からの友人がいます。「同僚の安否がわからない」、「家が破壊された」、「同僚の親族が殺された」。ガザ地区への攻撃が始まって以来、彼のSNSで生々しく悲痛な思いを投稿されているのを見て、ずっとモヤモヤしてて、何もできずに申し訳ないという後ろめたさもありました。

そんな思いもあり決議の採択を議会で働きかけ、議会の最終日に全会一致で可決しました。

文案は「中立的」(?)でないと全会一致は困難…個人的には書き足りなさを感じるも、議会として民間人への攻撃は許されないという思いを議会全体で共有できたことは嬉しく思っています。

X(Twitter)の有志の調べによると全国で1800以上ある自治体で、こうした意見書や決議を挙げた自治体は200以上あるとのこと。ここまで多くの自治体が同じ趣旨の意見書や決議を挙げることは大変珍しいです。少しでも多くの自治体に平和の輪が広がり、ガザ地区やイスラエルに声が届くことを願ってやみません。

第5次基本構想審査特別委員会 委員に就任しました

現在、立川市政の方向性は「長期総合計画」で決めています。現計画は2015年～2024年度。現在、2025年度からの新たな計画を策定しています。これまで10年近く掲げた「にぎわいとやすらぎの交流都市」という将来像も見直されます。

この計画の根幹となる基本構想を議論するため、基本構想審査特別委員会に就任しました。同会派の稲橋議員は副委員長に就任。今の社会情勢を反映させた、新しい立川市の在り方を議論してまいります。

にぎわいとやすらぎの交流都市

多くの人々が訪れて商業も活発な立川

緑豊かで人との絆で住むにも安心な立川

多くの人たちの交流で発展していく立川

審議会や特別委員会
市民ワークショップを
通じて策定中

議会で取り上げました

市役所の人員体制の在り方を見直していくべき！

前清水市政において長らく行政改革が公約として掲げられ、市役所職員数の削減が進められてきました。その影響もあってか、休職者は増加傾向にあり、疲弊している部署もあるように感じます。また、執務スペースも狭い部署が多く、働きにくさの一因ではないかと指摘しました。

今後の職員体制を厚くすると共に、職場もフリーアドレス化するなど、開放的で働きやすい環境作りを要望しました。

行政としても、こうしたことを踏まえ、適切な人員配置はもちろんのこと、執務スペースについても改善を目指していくとのことでした。



※令和5年予算特別委員会 立憲ネット結党かわり調査資料No.12に基づいて山本が作成

投票率を上げるための活動の拡充を！

昨今の裏金の問題等の報道を見るにつけ、市民の政治不信が強くなるのは当然と感じます。選挙の投票率は2～3割程度と低い傾向です。投票率を上げるには第一義的には、私たち選ばれる側が市民から信頼され、投票したくなる候補者になければならないことは言うに及びません。

しかし、その一方で日々の主権者教育や啓発活動も必要だと感じています。コロナ禍で中止になっていた学校への出前講座などを再開することを要望しました。選挙管理委員会としても、今後は再開していくと共に、投票率が上がる事業を研究していくとのことでした。

富士見町団地選挙公報アンケート ご協力ありがとうございました！

先の市長選で一部の住居で選挙公報が未配だと連絡を受け、富士見町団地を対象にアンケートを配布しました。回答数は17通と多くなかったのですが、今後の参考にすべく、結果を選挙管理委員会事務局に渡しました。ご協力ありがとうございました。

